

## 教科に関する調査の設問別の分析結果

### 平成 21 年度「基礎・基本」定着状況調査 中学校英語 64

## 問題

6 次の 1 から 4 の会話文の ( ) にあてはまる最も適切な英語をそれぞれ下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

4 A: What is Takuya doing now?

B: He ( ) soccer.

ア is    イ playing    ウ is playing    エ are playing

## 【出題の趣旨】

疑問詞・現在進行形の用法について知識があり、疑問詞・現在進行形を用いて会話文を組み立てることができるかを見る。

## 【学習指導要領の内容・領域】

「書くこと」

(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しい文を書くこと。

	正答率
本校	60.0
広島県	70.6

		本校の割合 (%)	地域 (%)
ア	is	0	1.1
イ	playing	35.0	30.9
ウ	is playing	60.0	64.0
エ	are playing	5.0	3.0

## この問題を解くために必要な力

- ・現在進行形の形・意味・用法を理解し、表現できる力
- ・応答の文から、何についてたずねている疑問文であるかを考える力
- ・What の疑問詞の使い方を理解する力
- ・会話文を組み立てることができる力

## 誤答分析

ア be 動詞の働きが理解できていない

イ進行形は~ing を使うことだけ理解され、be 動詞を忘れている

エ進行形の作り方は分かっているが、be 動詞の使い方が理解できていない

[事前問題 1 : is am are のどれかを入れなさい]

		正答%(人数 31 名中)	誤答
1	I (am) from Japan.	100 (31)	
2	You (are) 13 years old.	93.5 (29)	is...6.5(2)
3	She (is) in the park.	100 (31)	
4	They (are) my students.	93.5 (29)	is...6.5(2)
5	We (are) in America	58.1 (18)	is...35.4(11) / am...6.5(2)
6	Lisa (is) from Canada.	87.0 (27)	am...6.5(2) / are...6.5(2)
7	Ken and Kumi (are) good friends.	38.7 (12)	is...58.1(18) / 無解答...6.5(2)
8	English (is) interesting.	96.8 (30)	are...3.2(1)

[事前問題 2: 疑問文とその答えを書きなさい]

		正答%(人数 31 名中)	誤答
1	You are from Japan. (Are you from Japan?)	51.6(16)	Do you are from Japan? ...22.6(7) Do you from Japan? ...22.6(7) その他(Yes, I am.) ...3.2(1)
	Yes, (I) (am).	64.5(20)	Yes, I do. ...25.8(8) その他(Yes, you do./ Yes, it is.) ...6.5(2) 無解答 ...3.2(1)
	No, (I'm) (not).	58.1(18)	No, I don't. ...25.8(8) その他(No, you don't./No, it's not.など) ...12.9(4) 無解答 ...3.2(1)
2	He is our new teacher. (Is he our new teacher?)	19.4(6)	Does he is our new teacher? ...29.0(9) Does he our new teacher? ...29.0(9) その他(Do you our new teacher? など) ...16.2(4) 無解答 ...6.5(2)
	Yes, (he) (is).	25.8(8)	Yes, he does. ...48.4(15) その他(Yes, he do./ Yes, I do.) ...22.6(7) 無解答 ...3.2(1)
	No, (he's) (not).	19.4(6)	No, he doesn't. ...48.4(15) その他(No, he don't./ No, I don't.) ...29.0(9) 無解答 ...3.2(1)

[事前問題 3: 並べかえなさい]

		正答%(人数 31 名中)	誤答
1	<u>What is this?</u>	83.9(26)	What this is? ...16.1(5)
2	<u>What do you have</u> for breakfast?	90.3(28)	What have do you ...3.2(1) What have bo you ...3.2(1) What do you ...3.2(1)

**この問題を解くために必要な力**

- [事前問題 1] 主語に応じて be 動詞を使い分ける力
- [事前問題 2] be 動詞のある英文を疑問文にし、応答する力
- [事前問題 3] 疑問詞 what のある英文を正しい語順にする力

**誤答分析**

- ・ be 動詞の使い分け, 特に主語が複数 we are Ken and Kumi are のつながりが理解できていない
- ・ be 動詞の疑問文において, Do you? や Does he? などの疑問文の作り方と混同している
- ・ 疑問詞のある英文において, what が文頭にくることは定着しているが, その後に疑問文の形で文が続けられることが理解できていない

【単元名】Unit9 クリスマスがやってきた

調査結果からみる課題

【課題となる力】

- ・主語に応じて be 動詞を使い分ける力
- ・be 動詞のある英文を疑問文にする力
- ・現在進行形を文構造に従って正しく組み立てる力

【指導上の課題】

- ・be 動詞の復習をし、主語に応じてどの be 動詞を使うのか、また疑問文の作り方やその応答をどのようにするのかを定着させる
- ・現在進行形を be 動詞 + 動詞の ing で作ることを理解させる

指導改善のポイント

be 動詞の用法を復習させ、現在進行形の文構造を理解させる

【指導の工夫】

- be 動詞の復習 (ドリル学習)
- 現在進行形の文構造の復習 (カードを使用)
- 会話の流れを考え、現在進行形の文を書かせる
- 音読練習を通して文構造の定着を図る
- 音読筆写
- 家庭学習 (本文練習)

be 動詞の復習 (ドリル学習)

- ・主語と be 動詞 is/am/are の結びつきを練習させる

現在進行形の文構造の復習 (カードを使用)

(1)肯定文の復習 (2)動詞の ing 形の復習 (3)疑問文の復習 (4)What are you doing?の復習

	主語	動詞	-を	どこで	いつ
	You	are reading	a book	in the park	now .
Are	you	× reading	a book	in the park	now ?
--- Yes, I am. / No, I'm not.					

What	are	you	doing	?
	I	am	playing	the piano .

会話の流れを考え、現在進行形の文を書かせる

- ・特に、空欄の後の Yes, he's swimming. に着眼させ、考えさせる (思考)
- ・現在進行形の文構造にしたがって、英文を書かせる (表現)

音読練習を通して文構造の定着を図る

- ・登場人物の気持ちを考えて現在進行形のある英文を音読することで、現在進行形の定着を図る

音読筆写

- ・教科書本文を正しく書く練習をさせる

家庭学習 (本文練習)

- ・音読プリントを使い、個に応じて step を選び教科書本文を書かせる

## 中学校第1学年 英語科学習指導案

### 単元名：Unit9 クリスマスがやってきた

日時：平成22年1月18日（月）5校時

場所：1年A組 （教室）

### 単元について

Unit8 から Unit10 は、絵美、慎、マイク、ジュディの4人がカナダへ旅行に行くという場面設定である。その中で本単元では、4人がカナダに到着し、トロントにあるグリーン先生の家に滞在している様子が取り上げられている。カナダの年末年始の様子やオーストラリアから届いたクリスマスカードなど、異文化に接することで初めて日本独自の文化に気づき、カナダの文化を体験の中で吸収していく生徒たちの様子がうかがえる。

言語材料としては、現在進行形、be動詞のある命令文や否定命令文が扱われている。主に現在進行形が取り上げられており、カナダでの実際の生活場面が生き生きと描写されている。時制として現在形以外を学ぶのは初めての単元である。英語と日本語との表現の仕方の違いをしっかりと意識させながら学ばせていきたい。

### 指導において大切にしていること

外国語科の新学習指導要領によると、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」ことが目標として設定されている。

コミュニケーション能力を育成するためには、4技能を総合的に指導しながら、コミュニケーションへの積極的な態度を身につけることが重要である。しかし、授業の中では書くことに割く時間が少なく家庭学習に委ねている部分がある。そこでできるだけ書く時間を増やす取組をしている。音読筆写を取り入れたり、speaking 活動後は話した内容を英語で書くよう指導している。

また言語材料の定着を図るために、単語や基本文などは繰り返し反復できるように、単元の最初に先取りで単語や基本文を導入し口頭練習したり、家庭学習でノートに書かせる指導を行っている。会話練習活動としては、9月より「ぺらぺら英会話」を本推進地域共通で行い、既習事項の定着を図っている。

### 調査結果からみる課題

#### <誤答分析から>

本校の2年生においては、疑問詞 What を用いた現在進行形の疑問文 “What is Takuya doing?” に対する応答として、正答である “He ( is playing ) soccer.” を答えに選んだ生徒は60%であった。しかし、その一方で35%の生徒が “He (playing) soccer.” と空欄に playing だけを選択している状況が見られた。この誤答は、進行形を作るときには動詞の ing が必要ということは理解できているものの、ing との組み合わせで一緒に使わなければならない be 動詞が忘れられているためと考えられる。

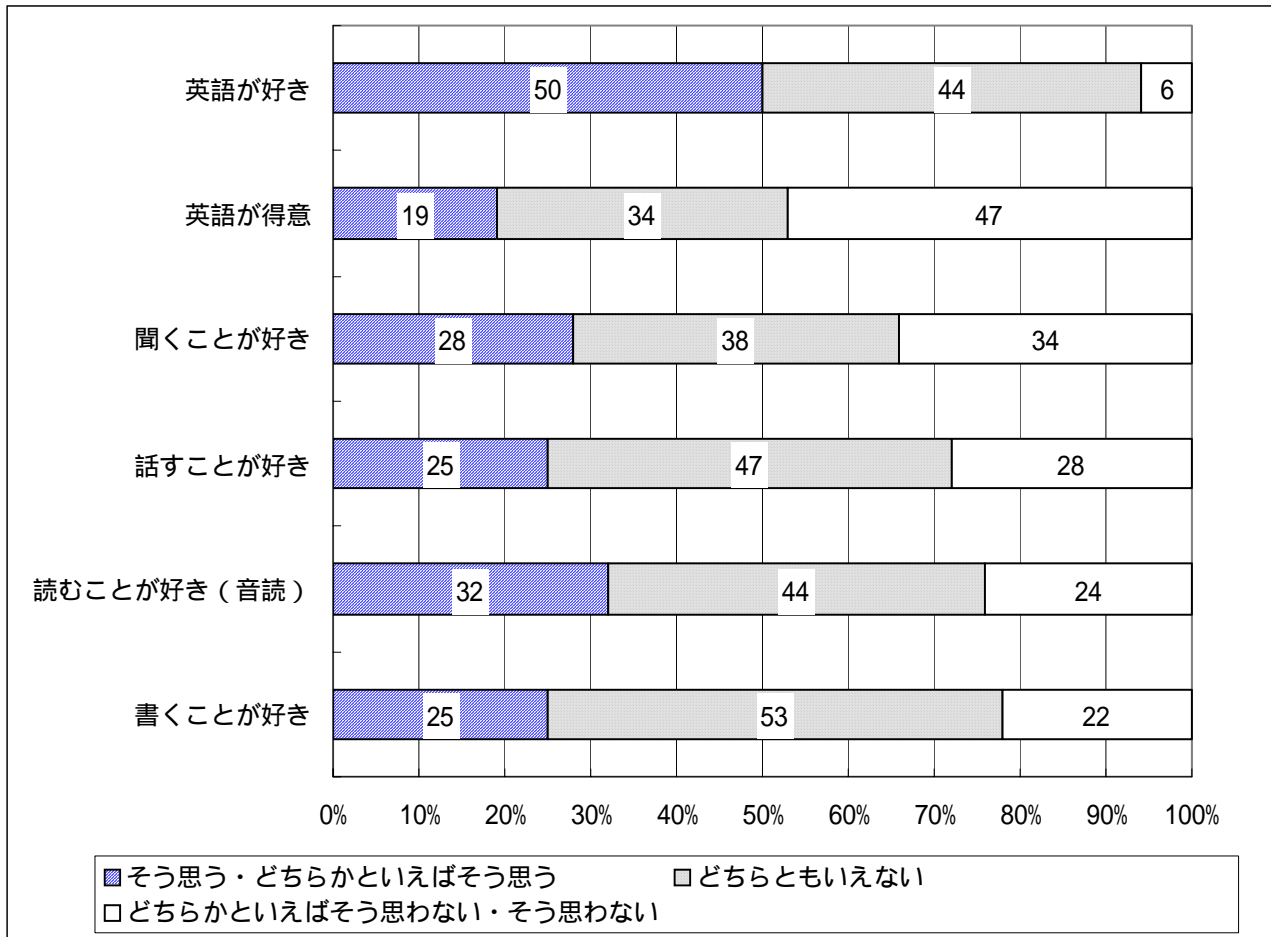
現在進行形の文構造を理解するためには、be 動詞を正しく使う力が必要不可欠である。そこで1年生がどれくらい be 動詞を理解し、定着しているかを確認するために、事前問題を実施した。事前問題の結果をみると、主語が We や Ken and Kumi などの複数有的时候に are を選べない生徒が多いことが分かった。また Do や Does を使う疑問文を習ったことが、be 動詞の疑問文の作り方に影響を与え、混乱していることが分かった。

これらのことから、授業の最初に be 動詞の復習をドリル的に繰り返して毎時間復習すること、また be 動詞と動詞の ing 形で現在進行形を作ること、カードを使いながら視覚的に理解させ、定着を図っていきたい。

### <生徒質問紙から>

1年生は33名(男子14名 女子19名)の1クラス編成で授業を行っている。次のグラフは11月に実施した英語アンケートの結果である。「英語が好きですか」という質問に「好きでない」と答えた生徒は6%であるのに対して、「英語が得意ですか」という質問には「得意でない」と答えた生徒は47%にも上る。好きという気持ち強い1年生の間に英語への理解度を高め、英語の楽しさを味わせていくことが大切である。

また4技能を比較すると、「聞く」ことへの苦手意識がやや高いことが分かる。これらのことから「聞く」ことを授業で意識して取り入れ、英語の音声に慣れさせることが必要である。



### 【指導上の課題】

- ・ be 動詞の復習をし、主語に応じてどの be 動詞を使うのか、また疑問文の作り方やその応答をどのようにするのかを定着させる
- ・ 現在進行形を be 動詞 + 動詞の ing で作ることを理解させる

## 指導改善のポイント

### 【本 Dialog において】

この Dialog では、マイクと慎がクリスマスカードを見ながら会話をしている場面が扱われている。そのクリスマスカードの中にオーストラリアから届けられたものがあり、サンタが海で泳いでいる絵を見て慎が驚いている。オーストラリア出身のマイクにとっては、クリスマスの時期が夏にあたるということは当然のことだが、ここで慎は「クリスマス=冬」といった固定概念を崩されることとなる。

本時の目標は文と文のつながりを考え内容理解をすることを通して、登場人物の気持ちになっ

て音読をすることである。内容理解においては、本文を「聞くこと」を通して内容を理解させたい。英文は短く、単語レベルからでもどのような内容かが分かりやすいので、1回目は絵も提示せず聞き取りを行わせたい。その後、絵を見せ、内容を推測させていく。

続いて、本文の一部を空欄にしたワークシートを使い、空欄部分に入る英文を考える思考面の活動も取り入れていく。「基礎・基本」定着状況調査においても、会話の流れを考えて適切な英文を書く力は問われている。本時では、空欄の後の”Yes, he’s swimming.”に注目して、英文を考えさせる。そのときに現在進行形の形をしっかりと意識させ、定着を図っていきたい。

慎の驚きやマイクの尋ね方なども考えさせて音読させていき、その音読練習を重ねる中で、音声面からも現在進行形の定着を図っていく。

### 【指導方法について】

be 動詞の用法を復習させ、現在進行形の文構造を理解させる。

be 動詞の復習（ドリル学習）

現在進行形の文構造の復習（カードを使用）

会話の流れを考え、現在進行形の文を書かせる

音読練習を通して文構造の定着を図る

音読筆写

家庭学習(本文練習)

### 【家庭学習について】

前時 授業で行ったジェスチャーゲームで使った表現から音読筆写を行わせる

本時 音読プリントを利用し、本文をノートに書かせる



## 単元の目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<p>・学んだ表現を使い会話を続けたり，書こうとしている。</p>	<p>・現在進行形を使い，自分が今していることを説明したり，相手にしていることを尋ね，それに適切に応答することができる。また否定命令文を使い，指示することができる。</p>	<p>・現在進行形や否定命令文が用いられた英文の内容を聞きとったり，読みとったりすることができる。</p>	<p>・現在進行形や否定命令文についての文法の知識がある。</p>

## 指導と評価の計画

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	<p>(コミュニケーションの継続) 理解できないことがあっても，相手に聞き返したりし，聞き続けようとしている。</p>	/	<p>(適切な聞き取り) 聞いた内容について，大切な部分を聞き取ることができる。</p>	
話すこと	<p>(言語活動への取組) ペアワークで必要に応じて協力しあっている。</p>	<p>(適切な発話) 現在進行形疑問文を使って尋ね，またそれに対して適切に応答することができる。</p>	/	<p>(言語についての知識) 否定命令文を使った表現を知っている。</p>
読むこと	<p>(言語活動への取組) どのようにすれば相手に伝わるかを考え，場面や心情に応じた音読をしようとしている。</p>	<p>(適切な音読) 場面や心情に応じた音読ができる。</p>	<p>(適切な読み取り) 書かれた情報について大切な部分を読み取ることができる。</p>	<p>(言語についての知識) 単語の発音の違いなど語句や文を正しく発音する知識を身に付けている。</p>
書くこと	<p>(言語活動への取組) 現在進行形(肯定文)を使った文を意欲的に書こうとしている。</p>	<p>(適切な筆記) 会話の流れを考えて，適切な英文を書くことができる。</p>	/	<p>(言語についての知識) 現在進行形(疑問文)についての知識を身に付けている。</p>

(全5時間)

次	学 習 内 容	評 価					主な評価規準	評価方法
		関心	表現	理解	知識			
1	Part1 現在進行形(肯定文)の形・意味を理解する。また英文を聞き、人が何をしているかを聞き取る。						ア 現在進行形(肯定文)を使った文を意欲的に書こうとしている。 ウ 聞いた内容について、大切な部分を聞き取ることができる。 エ 単語の発音の違いなど語句や文を正しく発音する知識を身に付けている。	観察 自己評価 ワークシート  観察
2	Part2 現在進行形(疑問文と応答)の形・意味を理解し、表現する。						ア ペアワークで必要に応じて協力しあっている。 イ 現在進行形疑問文を使って尋ね、またそれに対して適切に回答することができる。 エ 現在進行形(疑問文)についての知識を身に付けている。	ワークシート 観察 自己評価  ワークシート 後日テスト
3 (本時)	Part2 南半球でのクリスマスについての内容を読み取り、理解する。						イ 会話の流れを考えて、適切な英文を書くことができる。 ア どのようにすれば相手に伝わるかを考え、場面や心情に応じた音読をしようとしている。	ワークシート  ワークシート 観察 自己評価
4	Part3 否定命令文と be で始まる命令文の形・意味を理解し、表現する						ア 理解できないことがあっても、相手に聞き返したりし、聞き続けようとしている。 エ 否定命令文を使った表現を知っている。	発表  ワークシート 自己評価
5	Part3 カナダで見られる標識について英文を読み取り、理解する。						ウ 書かれた情報について大切な部分を読み取っている。 イ 場面や心情に応じた音読ができる。	発表  観察 自己評価

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

現在進行形のある英文のつながりを考え、マイクと慎の気持ちになり、音読しようとする。  
会話の流れを考えて、英文を書くことができる。

### (2) 観点別評価規準

どのようにすれば相手に伝わるかを考え、場面や心情に応じた音読をしようとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

会話の流れを考えて、適切な英文を書くことができる。(表現の能力)

### (3) 準備物

教科書、ノート、ワークシート、ピクチャーカード、CDプレイヤー、CD、MD



( 4 ) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 支援を要する生徒への手立て	評価規準	評価方法
<b>1 ウォームアップを行う</b>			
あいさつ・曜日・天気 べらべら英会話 Unit9 単語練習・チャンツ ・大きな声で発音する ・リズムを意識する be 動詞の復習(ドリル学習) 現在進行形の復習	・意欲的に活動させるために、べらべら英会話の活動前に目標を示し、活動後に評価をする。 ・Unit9 の単語をリズムにのせて発音し、定着を図る ・短時間でテンポよく行う 特に be 動詞が理解できていなかった生徒をよく確認しながら練習を行う。 ・現在進行形は文構造をカードを使いながら復習させる ・What are <u>you</u> doing?の主語を変えて練習させる		
<b>2 会話文の内容を理解する</b>			
Today's Goal: マイクと慎の気持ちになって、会話を再現しよう			
Part1 の復習(PC)	・ピクチャーカードを使って前時の復習をする。また本時の内容にかかわる部分について復習しておく。		
T: Look at this picture. What are they doing? (--- Lisa is helping Koji. ..) Yes. Mike and Shin are reading Christmas cards. T: Where are they? (---In Canada.) T: Where is Mike from? (---He is from Australia.) How about Shin? (---He is from Japan.) OK. Well, let's start today's lesson!!			
Listening ( 1 回目 ) 教科書は閉じておく ・メモをとる(単語でよい) メモのとり方を確認する 発表で確認	本文の内容( )を抜いておく Mike: Look at this Christmas card! Shin: What's Santa doing? (Is he swimming?) Mike: (Yes,) he's swimming. Shin: In winter? Mike: In Australia Christmas is in summer. Shin: (Oh!)		
Listening ( 2 回目 ) PC 提示 発表でてきた単語や文を再度確認するために聞く	ピクチャーカードを提示し、理解できない英語部分の理解を補助する		
Listening ( 3 回目 ) ・理解できた内容を書く 日本語で確認する			

<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに記入</li> </ul>	<p>質問1：Mike は始め慎に何と言いましたか？（クリスマスカードを見て）          質問2：そのクリスマスカードを見て慎は何を質問しましたか？（サンタは何をしているのか）          質問3：サンタは何をしていましたか？（泳いでいた）</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに赤で記入する</li> </ul>	<p>質問4：なぜそのクリスマスカードには泳いでいるサンタが描かれているのか？（そのカードはオーストラリアからのもので、オーストラリアは南半球で日本とは季節が逆になるから）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ポイントとなる英語をワークシートに記入させる</li> </ul> <p>look at...          What's Santa doing?          He's swimming.          in winter</p>		

### 3 会話文のつながりを考えて、英文を加える

<p>の空欄に入れる適切な英文を考える理由も考える</p>	<p>質問1：空欄 に英語を入れるとしたら、どんな英語を入れますか？またその英語を入れた理由も考えてみよう。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で考える</li> <li>相互に意見交換する</li> </ul>	<p>抜いていた内容を [ ] にしたものを生徒に渡す          Mike: Look at this Christmas card!          Shin: What's Santa doing? [ Is he swimming? ]          Mike: <u>Yes</u>, he's swimming.          Shin: In winter?          Mike: <u>In Australia</u> Christmas is in summer.          Shin: [ Oh ] !</p>	<p>空欄後の Yes が手がかりになるというヒントを与える</p>	<p>会話の流れを考えて、適切な英文を書くことができる（表現）</p> <p>ワークシート</p>
<p>日本語で自由に考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人で考える</li> <li>相互に意見交換する</li> </ul>	<p>質問2：空欄 にあなたが慎だったら、どんな言葉を入れますか？日本語で考えてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後の活動である音読の手立てとなるようしっかり考えさせる</li> </ul>	

### 4 音読練習をする

<ul style="list-style-type: none"> <li>音読プリントを使い練習する</li> <li>チャンク読み</li> <li>一文読み</li> <li>人物読み</li> <li>Read and Look up</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>始めはゆっくり読み、徐々にスピードをあげていく</li> <li>長い英文は後ろ読みを入れながらスピードをあげていく</li> </ul>		
---	--	--	--

<p>個人で練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の step をあげていく</li> </ul> <p>ペアで練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで人物読み</li> <li>・ペアで競争</li> </ul> <p>CDの速度でリピートする</p>	<p>分からない読みがあれば周りの生徒や教員に聞かせる</p>		
<p>CDではこのように2人の会話は読まれています。あなたが彼らの立場だったらどのように気持ちを込めて読みますか？</p>			
<p>ペアで考え、読み練習を行う</p> <p>発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの英文にどのように読むかを記入させる</li> </ul>	<p>どのようにすれば相手に伝わるかを考え、場面や心情に応じた音読をしようとしている（関心）</p>	<p>ワークシート 観察 自己評価</p>
<p><b>5 本時のまとめと次時の確認をする</b></p>			
<p>次時の確認をする</p> <p>自己評価し、学習を振り返る</p> <p>宿題の提示</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読筆写（本文を正確に書く）</li> <li>・口頭で確認する</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読プリントを利用し、本文をノートに書かせる。</li> </ul>		

# 板書計画

(ホワイトボード)

	主語	動詞	~を	どこで	いつ
Are	You	are	reading	a book	in the park now .
	you	×	reading	a book	in the park now ?

--- Yes, I am. / No, I'm not.

What	are	you	doing	?
	I	am	playing	the piano .

## (黒板)

look at... ~を見る

What's Santa doing? 何を~はしているの?

He's swimming.

in winter 冬に in+季節

Mike: Look at this Christmas card!

Shin: What's Santa doing?

Is he swimming?

Mike: Yes, he's swimming.

Shin: In winter?

Mike: In Australia Christmas is in summer.

Shin: Oh !

なるほど~!  
え~, 知らなかった!  
そっか, 習ったよね!

## 検 証

## 検証の方法

[評価問題の実施]

3(2)あなたは何をしていますのですか？ - ぼくは今テレビをみているんだよ。

( What ) ( are ) you ( doing ) ? ---- I ( am ) ( watching ) TV now.

(3)マイクは音楽を聞いているのですか？ - いいえ。

( Is ) Mike ( listening ) to music? ---- No, ( he's ) ( not ).

## 検証結果

(%)

1(2)	正答人数	78.1
	( What ) ( do ) you ( do ) ?	6.3
	( What ) ( is ) you ( doing ) ?	6.3
	( What ) ( are ) you ( now ) ?	3.0
	無解答	6.3
1(2)	正答人数	46.9
	I ( am ) ( waching ) TV now.	18.7
	I ( am ) ( watch ) TV now.	6.3
	I ( look ) ( at ) TV now.	9.3
	その他	12.5
	I ( am ) ( looking ) TV now.	
	I ( am ) ( writeing ) TV now.	
	I ( witching ) ( is ) TV now.	
	I ( wanth ) ( ing ) TV now.	
無解答	6.3	

## 分 析

- What are you doing?についてはおおむね定着している。しかし、「～していますか」という Yes/No 疑問文と混同しており、Is で始めるべき疑問文に What を使用した生徒が全体の 28%にも及んでいる。
- 疑問文の答え方については、No, he's not.と答えた生徒が 40%にとどまり、I を使い答えようとした生徒が全体の 37%を占めている。

## 考 察

- 現在進行形だけにとどまらず、日頃から疑問詞のある疑問文と Yes/No 疑問文とをもっと意識させた指導をしていく必要がある。
- 疑問文の答え方において、生徒は I を使い答える傾向があるので、いろいろな代名詞が使えるようドリル的な口頭練習が必要である。

1(3)	正答人数	28.1
	( Is ) Mike ( listenning ) to music?	6.3
	( Is ) Mike ( listen ) to music?	12.5
	( Are ) Mike ( listenning ) to music?	3.1
	( What ) Mike ( listening ) to music?	9.3
	( What ) Mike ( listen ) to music?	6.3
	その他	28.1
	( Is ) Mike ( listing ) to music?	
	( Are ) Mike ( listen ) to music?	
	( What ) Mike ( ) to music?	
( What's ) Mike ( listening ) to music?		
( What ) Mike ( Isenten ) to music?		
無解答	6.3	
1(3)	正答人数	40.6
	No, ( I'm ) ( not ).	28.1
	No, ( it's ) ( not ).	6.3
	その他	18.7
	No, ( I'm ) ( don't ).	
	No, ( I'm ) ( doesn't ).	
	No, ( I ) ( not ).	
	No, ( hem ) ( not ).	
	No, ( Are ) ( not ).	
	無解答	6.3

## [指導者感想]

コミュニケーション活動を主とした授業研究ではなく、教科書をどう扱うかということ考えた授業研究は初めての経験で、授業も思うように流れず苦労した。それと同時に自分自身を鍛えていかなければいけないと感じることができた。生徒に総合的な力を付けるためにも、これからもいろいろな手法を試みていきたい。